

平成30年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査実施状況等について

1 学力検査受検者数等について

() 内は昨年度の人数及び倍率

事 項	課 程		定 時 制	
	全	日 制	定	時 制
第一次募集の定員	6,020 人	(6,374 人)	600 人	(600 人)
志願者数 A	7,288 人	(7,680 人)	137 人	(179 人)
辞退者数 B	261 人	(245 人)	12 人	(13 人)
欠席者数 C	10 人	(9 人)	4 人	(6 人)
受検者数 A-(B+C)	7,017 人	(7,426 人)	121 人	(160 人)
選抜の対象者数 A-B	7,027 人	(7,435 人)	125 人	(166 人)
実質倍率	1.17 倍	(1.17 倍)	0.21 倍	(0.28 倍)

(注1) 第1時限終了時の人数及び倍率である。

(注2) 「第一次募集の定員」及び「志願者数」には、推薦入学及び周防大島高校(普通科・地域創生科)で実施している連携型入学者選抜における合格内定者数並びに高森高校と中高一貫教育を実施している高森みどり中学校から同高校への入学予定者数は含まれない。

(注3) 実質倍率は、「選抜の対象者数」を「第一次募集の定員」で割った数値である。

2 学力検査出題概要について
別紙1のとおり

3 学校指定教科検査出題概要について
別紙2のとおり

学力検査時間割表

時限	教科	検 査 時 間
1	国語	9:00 ~ 9:50 (50分)
		(休 憩)
2	数学	10:10 ~ 11:00 (50分)
		(休 憩)
3	英語	11:20 ~ 12:10 (50分)
		(昼 食)
4	社会	13:00 ~ 13:50 (50分)
		(休 憩)
5	理科	14:10 ~ 15:00 (50分)

《参考》

◎ 学力検査について

- (1) 検査教科 国語、数学、英語、社会及び理科
(英語はリスニングテストを含む。)
- (2) 配 点 各教科とも50点
- (3) 時 間 割 右の表のとおり
- (4) 実施学校・学科数 全日制 48校7分校115学科1コース
定時制 13校1分校15学科

◎ 学校指定教科検査について

実施学校・学科数 20校31学科

実施教科数・検査時間	実施教科	実施学校(学科)
1教科 15:20~15:40(20分)	英語	宇部中央(普通)
2教科 15:20~16:00(40分)	—	該当校なし
3教科 15:20~16:20(60分)	国語、数学、英語	岩国(普通・理数)、柳井(普通)、熊毛南(普通)、光(普通)、下松(普通)、華陵(普通・英語)、徳山(普通・理数)、新南陽(普通)、防府(普通・衛生看護)、山口(普通・理数)、山口中央(普通)、宇部(普通・探究[人文社会科学・自然科学])、小野田(普通)、美祢青嶺(普通)、豊浦(普通)、下関西(普通・探究[人文社会科学・自然科学])、下関南(普通)、天津緑洋(普通)、萩(普通・探究[人文社会科学・自然科学])

◎ 今後の日程について

- (1) 選抜結果の発表 3月15日(木) 午前10時
- (2) 第二次募集実施校等発表 3月15日(木) 午後3時30分
- (3) 補欠合格者発表(全日制) 3月19日(月) 午後2時

(別紙1)

平成30年度学力検査について

平成30年(2018年)3月7日

【全体の出題概要】

平成30年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、中学校学習指導要領に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 1 基礎的・基本的な内容と応用的な内容について、均衡を図って出題した。
- 2 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題した。

【各教科の出題概要】

(国 語)

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について相互の関連や均衡に配慮しながら、基礎的・基本的な事柄について出題するとともに、表現力、理解力、思考力等を総合的にみることとした。

- 1 文学的文章や説明的文章について、基礎的・基本的な力をみるとともに、登場人物の心情や論理の展開の仕方などを、文脈に即して適切に捉える力をみることとした。
- 2 古文及び漢文について、古典を読むための基礎的な力とあわせて、話の展開や表現の仕方を確かめながら内容を捉える力をみることとした。
- 3 作文の問題について、話合いの内容を踏まえて、題意に即した必要な材料を集め、適切にまとめて文章にする力をみることとした。

(社 会)

地理・歴史・公民の各分野から、分野間の関連や均衡に配慮しながら、社会的事象についての基礎的・基本的な知識や概念の理解に加え、資料活用の技能や思考力、判断力、表現力などを総合的にみることとした。

- 1 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念、技能の習得の程度をみることとした。
- 2 地図や統計などの資料を活用し、考察した結果について、適切に表現する力をみることとした。
- 3 社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察する力をみることとした。

(数 学)

「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4領域及び各学年での学習内容の均衡に配慮しながら、基礎的・基本的な内容についての知識や技能の習得の状況をもとに、数学的な見方や考え方や数学的に表現し処理する力をみることにした。

- 1 基礎的・基本的な内容について、知識や概念の理解及び計算技能の習得の程度をみることにした。
- 2 数と式、関数、確率などについて、理解の程度をみることに、数学的な見方や考え方や数学的に表現し処理する力をみることにした。
- 3 図形の性質や計量について、理解の程度をみることに、論理的に思考する力及び数学的に表現する力をみることにした。

(理 科)

第1分野、第2分野及び各学年での学習内容の均衡に配慮しながら、観察、実験を題材とした基礎的・基本的な事項を中心に出題し、自然の事物・現象についての知識や理解、科学的に探究する能力、科学的な見方や考え方などをみることにした。

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識や概念の習得の状況及び原理や法則の理解の程度をみることにした。
- 2 目的意識をもって観察、実験を行い、得られた結果を科学的に考察し、表現する力をみることにした。
- 3 自然の事物・現象を客観的に捉え、合理的に判断し、筋道を立てて考察・推論する力をみることにした。

(英 語)

「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の関連や均衡に配慮しながら、身近な言語の使用場面において、適切な表現を用いてコミュニケーションを図る力、ある程度まとまった内容の英文を正確に読み取る力などをみることにした。

- 1 リスニングテストについて、身近な事柄に関する対話などを聞いて、要点を正しく捉える力、適切に応答する力、必要な情報を書き取る力をみることにした。
- 2 英文を読んで、日常的な会話表現を使う力、前後の流れから判断して英語で適切に表現する力、文脈を正しく理解し、概要・要点を的確に捉える力などをみることにした。
- 3 与えられた日本語を基に、語と語のつながりなどに注意して正しい語順や語法を用いて英語の文を書く力をみることにした。

(別紙2)

平成30年度学校指定教科検査について

平成30年(2018年)3月7日

【出題概要】

平成30年度の学校指定教科検査の出題については、中学校学習指導要領に準拠しつつ、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力をみるとともに、知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力などをみる問題を出題した。

(国 語)

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について相互の関連や均衡に配慮しながら、実生活に即した文章などを基に思考し、目的や場面に応じて適切に表現する力をみることとした。

(数 学)

「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4領域の関連や均衡に配慮しながら、実生活の様々な場面で数学を利用して考察する力や、課題を解決するために構想を立て数学的な表現を用いて説明する力をみることとした。

(英 語)

「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の関連や均衡に配慮しながら、場面に合った内容を適切に表現したり、読み手に正しく伝わるように自分の考えを書いたりするなど、実際のコミュニケーションを目的として英語を運用することができる力をみることとした。